

運用報告書（全体版）

追加型投信／内外／債券

グローバル高金利通貨オープン（1年決算型）

作成対象期間：2014年6月24日～2015年6月22日

第7期（決算日 2015年6月22日）

＜受益者のみなさまへ＞

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび「グローバル高金利通貨オープン（1年決算型）」は、2015年6月22日に第7期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2018年1月22日まで（2008年11月4日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、先進国と新興国のソブリン債券および準ソブリン債券を中心に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	先進国高金利通貨オープン マザーファンド受益証券、新興国高金利通貨オープン マザーファンド受益証券
	先進国高金利通貨オープン マザーファンド	先進国のソブリン債券および準ソブリン債券
	新興国高金利通貨オープン マザーファンド	新興国のソブリン債券および準ソブリン債券
運用方法	・先進国と新興国の債券に当ファンドの純資産総額の50%程度ずつ投資し、それぞれの割合が一定の範囲となるよう調整します。 ・「新興国高金利通貨オープン マザーファンド」の運用指図権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルビーに委託します。	
主な投資制限	当ファンド	・マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。 ・ソブリン債券以外への実質投資は、取得時において、当ファンドの純資産総額の35%以内とします。 ・同一企業が発行する債券への実質投資は、取得時において、当ファンドの純資産総額の10%以内とします。
	先進国高金利通貨オープン マザーファンド	・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。 ・ソブリン債券以外への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。 ・同一企業が発行する債券への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
	新興国高金利通貨オープン マザーファンド	・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。 ・ソブリン債券以外への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。 ・同一企業が発行する債券への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	毎年6月22日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向、運用の効率性等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。）	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者から投資された資金をまとめた投資信託をペーパーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して、マザーファンドにおいて実質的な運用を行う仕組みです。

国際投信投資顧問株式会社は2015年7月1日に三菱UFJ投信株式会社と合併し、「三菱UFJ国際投信株式会社」となる予定です。

本報告書に関するお問い合わせ先は、以下の通りです。

コールセンター

フリーダイヤル **0120-759311**

受付時間は営業日の午前9時～午後5時

国際投信投資顧問

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目1番1号
ホームページ <http://www.kokusai-am.co.jp>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率			債券組入率 比	債券先物率 比	純資産額
		税金	込み	期中			
3期（2011年6月22日）	円 10,935	円	10	% 1.7	% 95.6	% —	百万円 38
4期（2012年6月22日）	10,010	10	△	8.4	96.0	—	32
5期（2013年6月24日）	12,011	10	20.1		96.2	—	42
6期（2014年6月23日）	13,012	10	8.4		96.3	—	47
7期（2015年6月22日）	13,280	10	2.1		92.2	—	48

（注1）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注2）当ファンドは親投資信託を組み入れていますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

（注3）債券先物比率は買建比率－売建比率です。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

当期の基準価額等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債券組入率 比	債券先物率 比
		騰落率	騰落率		
（期首） 2014年 6月23日	円 13,012	% —	% 96.3	% —	% —
6月末	13,042	0.2	96.5	—	—
7月末	13,031	0.1	95.7	—	—
8月末	13,126	0.9	96.0	—	—
9月末	13,197	1.4	95.6	—	—
10月末	13,244	1.8	95.9	—	—
11月末	13,841	6.4	93.6	—	—
12月末	13,440	3.3	94.5	—	—
2015年 1月末	12,814	△1.5	94.1	—	—
2月末	12,959	△0.4	95.1	—	—
3月末	12,728	△2.2	95.9	—	—
4月末	13,293	2.2	95.2	—	—
5月末	13,390	2.9	95.2	—	—
（期末） 2015年 6月22日	13,290	2.1	92.2	—	—

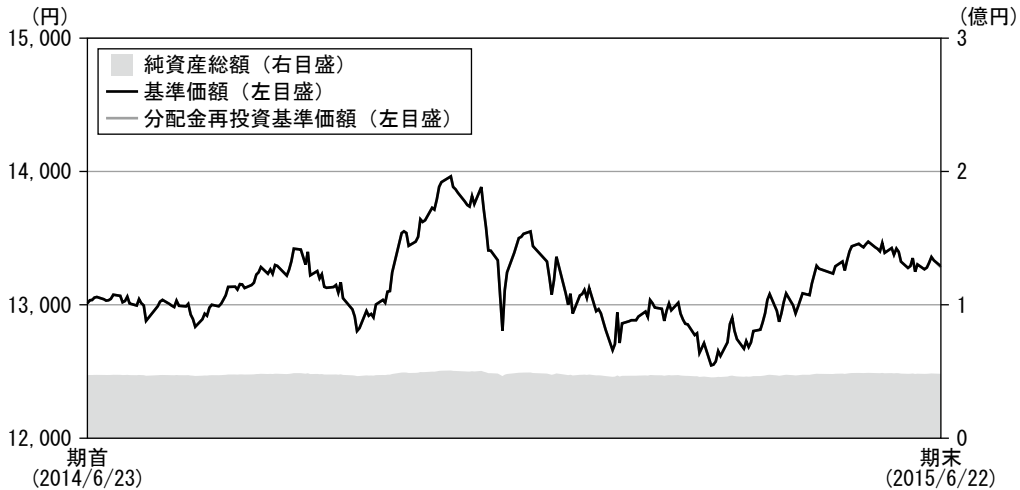
（注1）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

（注2）当ファンドは親投資信託を組み入れていますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

（注3）債券先物比率は買建比率－売建比率です。

■ 運用経過

■ 基準価額等の推移について（作成対象期間：2014年6月24日～2015年6月22日）



当ファンドの作成対象期間中の騰落率は
プラス2.1%となりました。

期首 : 13,012円
 期末 : 13,280円（既払分配金10円（税込み））
 騰落率 : +2.1%（分配金再投資ベース）

（注）騰落率は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

※分配金再投資基準価額は、期首の基準価額の値と等しくして指数化したものです。

■ 基準価額の主な変動要因（作成対象期間：2014年6月24日～2015年6月22日）

投資対象である2つのマザーファンドに、それぞれ純資産総額に対して2分の1程度ずつ投資し、各投資割合が一定の範囲内となるよう調整を行った結果、オーストラリア、ノルウェーなどの金利低下による債券価格の上昇や、英ポンド、シンガポール・ドルなどが円に対して上昇（円安）したことが、基準価額の上昇に寄与しました。

組入マザーファンドの基準価額の騰落率

組入マザーファンド	騰落率
先進国高金利通貨オープン マザーファンド	+3.9%
新興国高金利通貨オープン マザーファンド	+2.3%

投資環境について（作成対象期間：2014年6月24日～2015年6月22日）➤ **先進国債券市場の動向：**

作成対象期間の先進国債券市場では、投資対象国の金利はおおむね低下しました。

先進国債券市場は、主要な先進国の中央銀行が緩和的な金融政策を継続していることや、資源価格の下落などを背景にインフレ期待が低下していることなどから、多くの国で金利は低下しました。ニュージーランドでは、経済成長が鈍化していることなどを背景に中央銀行が利下げに踏み切ったことなどから金利は低下しました。

➤ **新興国債券市場の動向：**

作成対象期間の新興国債券市場では、一部の国を除く多くの国で軟調となりました。

新興国債券市場では、ロシアは、ウクライナ情勢や欧米による制裁、原油安などを背景に金利が上昇しました。ブラジルは、政策金利の引き上げなどを背景に金利は上昇しました。また、トルコは、政治的な不透明感の高まりなどを背景に金利は上昇しました。

➤ **先進国為替市場の動向：**

作成対象期間の先進国為替市場では、投資対象国の通貨が円に対してまちまちとなりました。

ノルウェー・クローネは、原油価格の下落などを背景に円に対して下落しました。一方、英ポンドは、景気が底堅く推移していることや総選挙を受けて政治的不透明感が後退したことなどから、円に対して上昇しました。

➤ **新興国為替市場の動向：**

作成対象期間の新興国為替市場は、一部の国を除く投資国通貨が下落しました。

ロシア・ルーブルは、ウクライナ情勢や欧米による制裁、原油安などを背景に円に対して下落しました。ブラジル・レアルは、国営石油会社ペトロブラスの汚職問題に対する懸念などから円に対して下落しました。また、トルコ・リラは、トルコの政治情勢などが懸念され、円に対して下落しました。一方、南アフリカ・ランドは、米ドルが円に対して堅調に推移したことなどを背景に上昇しました。

ポートフォリオについて（作成対象期間：2014年6月24日～2015年6月22日）

▶グローバル高金利通貨オープン（1年決算型）

当ファンドは、先進国高金利通貨オープン マザーファンドおよび新興国高金利通貨オープン マザーファンドの各受益証券を通じて、あらかじめ定めた先進国および新興国の投資対象国のうち、相対的に金利水準が高く、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）や市場規模、流動性等を勘案し選定した先進国5通貨、新興国5通貨の現地通貨建ソブリン債券におおむね均等に投資を行いました。

▶先進国高金利通貨オープン マザーファンド

国別配分については、作成対象期間の初めは、ニュージーランド、オーストラリア、ノルウェー、カナダ、ユーロ（イタリア）の現地通貨建国債をおおむね均等に組み入れたポートフォリオとしました。作成対象期間末は、ニュージーランド、オーストラリア、シンガポール、ノルウェー、カナダの現地通貨建国債をおおむね均等に組み入れたポートフォリオとしました。残存期間については、各投資国の残存期間3年以内の国債へ投資を行いました。外貨の組入水準を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは行いませんでした。

(2014年6月23日現在)				
通貨	債券 組入比率	平均残存 期間(年)	平均最終 利回り	平均格付
ニュージーランド・ドル	20.0%	0.8	3.6%	AAA
オーストラリア・ドル	19.8%	0.3	2.5%	AAA
ノルウェー・クローネ	18.5%	0.9	1.3%	AAA
カナダ・ドル	20.5%	2.2	1.1%	AAA
ユーロ（イタリア）	19.9%	2.9	1.0%	BBB
その他	1.2%	—	—	—
合計	100.0%	1.4	1.9%	AA+

(2015年6月22日現在)				
通貨	債券 組入比率	平均残存 期間(年)	平均最終 利回り	平均格付
ニュージーランド・ドル	18.2%	2.5	2.9%	AAA
オーストラリア・ドル	20.7%	1.7	1.9%	AAA
シンガポール・ドル	20.4%	1.2	0.9%	AAA
ノルウェー・クローネ	19.0%	1.9	0.8%	AAA
カナダ・ドル	19.8%	0.9	0.7%	AAA
その他	1.9%	—	—	—
合計	100.0%	1.6	1.4%	AAA

※後記の「注記」をご参照ください。

▶新興国高金利通貨オープン マザーファンド

国別配分については、作成対象期間の初めは、ナイジェリア、ブラジル、トルコ、ロシア、南アフリカの現地通貨建国債をおおむね均等に組み入れたポートフォリオとしました。作成対象期間末は、コロンビア、ブラジル、トルコ、ロシア、南アフリカの現地通貨建国債をおおむね均等に組み入れたポートフォリオとしました。残存期間については、各投資国の残存期間3年以内の国債へ投資を行いました。外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは行いませんでした。

(2014年6月23日現在)				
通貨	債券 組入比率	平均残存 期間(年)	平均最終 利回り	平均格付
ナイジェリア・ナイラ	20.5%	0.8	11.4%	BB-
ブラジル・レアル	19.6%	0.8	10.9%	BBB+
トルコ・リラ	18.8%	0.4	8.6%	BBB
ロシア・ルーブル	19.6%	1.3	8.1%	BBB+
南アフリカ・ランド	19.8%	0.9	6.4%	BBB+
その他	1.7%	—	—	—
合計	100.0%	0.8	8.9%	BBB-

(2015年6月22日現在)				
通貨	債券 組入比率	平均残存 期間(年)	平均最終 利回り	平均格付
ブラジル・レアル	19.5%	1.5	14.1%	BBB+
ロシア・ルーブル	20.0%	0.5	11.5%	BBB-
トルコ・リラ	12.5%	0.7	10.0%	BBB-
南アフリカ・ランド	20.6%	1.7	7.1%	BBB+
コロンビア・ペソ	19.4%	0.3	5.4%	BBB+
その他	8.1%	—	—	—
合計	100.0%	0.9	8.8%	BBB

※後記の「注記」をご参照ください。

■ 分配金について

分配については、基準価額水準・市況動向、運用の効率性等を勘案して、当期の1万口当たり分配金（税込み）は10円とさせていただきます。なお、分配金に充てなかった留保益については、特に制限を設けず、運用の基本方針に則した運用を行います。

■ 今後の運用方針

➤ グローバル高金利通貨オープン（1年決算型）

原則として、ファンドの純資産総額に対して先進国高金利通貨オープン マザーファンド、新興国高金利通貨オープン マザーファンドへ2分の1程度ずつの投資を行い、各投資割合が一定の範囲内となるよう組入比率の調整を行います。

➤ 先進国高金利通貨オープン マザーファンド

● 国別資産配分

原則として、先進国の中から相対的に金利の高い5通貨を選定し、現地通貨建の債券に均等に投資します。投資国通貨の選定においては、各国のファンダメンタルズや市場規模、流動性等も考慮します（選定通貨の見直しは定期的に行いますが、必要と判断した場合は別のタイミングで一部の通貨を入れ替えることがあります。入れ替えの途中などでは一時的に投資国通貨が5通貨とまらないこともあります。）。

● 残存期間

残存期間が3年を超える債券には、原則として投資しないものとします。

● 為替ヘッジ等

外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは原則として行わない方針です。

➤ 新興国高金利通貨オープン マザーファンド

● 国別資産配分

原則として、新興国の中から相対的に金利の高い5通貨を選定し、現地通貨建の債券に均等に投資します。投資国通貨の選定においては、各国のファンダメンタルズや市場規模、流動性等も考慮します（選定通貨の見直しは定期的に行いますが、必要と判断した場合は別のタイミングで一部の通貨を入れ替えることがあります。入れ替えの途中などでは一時的に投資国通貨が5通貨とまらないこともあります。）。

● 残存期間

残存期間が3年を超える債券には、原則として投資しないものとします。

● 為替ヘッジ等

外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは原則として行わない方針です。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当期 (2014/6/24~2015/6/22)		項目の概要
	金 額 円	比 率 %	
(a) 信 託 報 酬	128	0.969	(a) 信託報酬＝作成対象期間の平均基準価額× 信託報酬率× $\frac{\text{作成対象期間の日数}}{\text{年間日数}}$ 作成対象期間の平均基準価額は13,175円です。
(投 信 会 社)	(63)	(0.472)	・ 当ファンドの運用、受託会社への運用指図、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(61)	(0.465)	・ 交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.032)	・ 当ファンドの財産の保管および管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	15	0.111	(b) その他費用＝ $\frac{\text{作成対象期間のその他費用}}{\text{作成対象期間の平均受益権口数}}$
(保 管 費 用)	(14)	(0.107)	・ 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用等
(監 査 費 用)	(1)	(0.004)	・ 監査法人に支払われる当ファンドの監査費用等
合 計	143	1.080	

(注1) 作成対象期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は作成対象期間末の税率を採用しています。

(注3) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成対象期間の平均基準価額（各月末の単純平均）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

■ 当期の売買及び取引の状況（2014年6月24日から2015年6月22日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
先進国高金利通貨オープン マザーファンド	5,699	6,088	6,092	6,521
新興国高金利通貨オープン マザーファンド	5,448	6,400	5,491	6,475

（注）口数・金額の単位未満は切り捨てです。

■ 当期の利害関係人※との取引状況等（2014年6月24日から2015年6月22日まで）

(1) 利害関係人との取引状況

① 先進国高金利通貨オープン マザーファンド

区 分	当 期			期		
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
公 社 債	百万円 2,527	百万円 —	% —	百万円 2,081	百万円 —	% —
為替直物取引	1,269	383	30.2	2,193	1,032	47.1

平均保有割合 1.0%

（平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子投資信託の親投資信託所有口数の割合です。）

② 新興国高金利通貨オープン マザーファンド

区 分	当 期			期		
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
公 社 債	百万円 1,486	百万円 —	% —	百万円 1,181	百万円 —	% —
為替直物取引	1,565	—	—	2,467	—	—

平均保有割合 1.0%

（平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子投資信託の親投資信託所有口数の割合です。）

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	—千円
うち利害関係人への支払額 (B)	—千円
$(B) / (A)$	—%

（注）売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行株式会社です。

■ 自社による当ファンドの設定・解約状況（2014年6月24日から2015年6月22日まで）

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 30	百万円 -	百万円 -	百万円 30	当初設定時における取得

■ 組入資産の明細

親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
先進国高金利通貨オープン マザーファンド	22,361	21,968	23,885
新興国高金利通貨オープン マザーファンド	20,007	19,964	23,897

(注1) 各マザーファンド全体の受益権口数は以下の通りです。

先進国高金利通貨オープン マザーファンド 1,727,859千口

新興国高金利通貨オープン マザーファンド 1,578,509千口

(注2) 口数・評価額の単位未満は切り捨てです。

■ 投資信託財産の構成

2015年6月22日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
先進国高金利通貨オープン マザーファンド	23,885	49.2
新興国高金利通貨オープン マザーファンド	23,897	49.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	753	1.6
投 資 信 託 財 産 総 額	48,535	100.0

(注1) 先進国高金利通貨オープン マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,852,767千円）の投資信託財産総額（1,882,393千円）に対する比率は98.4%です。

(注2) 新興国高金利通貨オープン マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,875,404千円）の投資信託財産総額（1,896,591千円）に対する比率は98.9%です。

(注3) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、6月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=122.69円、1カナダ・ドル=100.00円、1ブラジル・リアル=39.62円、100コロンビア・ペソ=4.81円、1ノルウェー・クローネ=15.88円、1トルコ・リラ=45.57円、1ロシア・ルーブル=2.28円、1オーストラリア・ドル=95.31円、1ニュージーランド・ドル=84.67円、1シンガポール・ドル=91.91円、1南アフリカ・ランド=10.10円です。

(注4) 評価額の単位未満は切り捨てです。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2015年6月22日)現在

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	48,535,213
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	684,471
先進国高金利通貨オープン マザーファンド(評価額)	23,885,937
新興国高金利通貨オープン マザーファンド(評価額)	23,897,252
未 収 入 金	67,553
(B) 負 債	267,835
未 払 収 益 分 配 金	36,346
未 払 信 託 報 酬	230,535
そ の 他 未 払 費 用	954
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	48,267,378
元 本	36,346,159
次 期 繰 越 損 益 金	11,921,219
(D) 受 益 権 総 口 数	36,346,159口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,280円

■損益の状況

当期(自2014年6月24日 至2015年6月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	67
受 取 利 息	67
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,476,897
売 買 益	1,605,698
売 買 損	△ 128,801
(C) 信 託 報 酬 等	△ 465,306
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	1,011,658
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	8,982,473
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,963,434
(配 当 等 相 当 額)	(2,417,600)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 454,166)
(G) 計 (D + E + F)	11,957,565
(H) 収 益 分 配 金	△ 36,346
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	11,921,219
追 加 信 託 差 損 益 金	1,963,434
(配 当 等 相 当 額)	(2,417,604)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 454,170)
分 配 準 備 積 立 金	15,210,393
繰 越 損 益 金	△ 5,252,608

(注1) 損益の状況の中で

- ・ (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- ・ (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- ・ (F) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 当ファンドの期首元本額は36,342,269円、期中追加設定元本額は3,890円、期中一部解約元本額は0.0円です。

(注3) 1口当たり純資産額は、当期末1.3280円です。

(注4) 新興国高金利通貨オープン マザーファンドの当ファンド分の運用指図に関する権限の一部を委託するために要する費用(2014年6月24日から2015年6月22日まで)は、70,632円です。

(注5) 分配金の計算過程

項 目	当 期 末
(a) 配当等収益(費用控除後)	2,615,182円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後)	0
(c) 信託約款に規定する収益調整金	2,417,604
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	12,631,557
(e) 分配対象収益(a + b + c + d)	17,664,343
(f) 分配金額	36,346
(g) 分配金額(1万口当たり)	10

※本運用報告書作成時点において、本計算期間に係るファンドの監査は終了していません。

■ 分配金のお知らせ

決 算 期	第 7 期
1 万 口 当 たり 分 配 金 (税 引 前)	10円
分 配 金 落 ち 後 基 準 価 額	13,280円

分配原資の内訳 (1万口当たり、税込み)

	第7期 2014年6月24日～ 2015年6月22日
当期分配金	10円
（対基準価額比率）	0.075%
当期の収益	10円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	4,850円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損金補てん後の有価証券売買等損益（評価益を含む）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<注記>

(注1) マザーファンドの通貨別組入比率は未収利息等を含むため、「運用報告書（全体版）組入資産の明細」の比率とは異なります。

(注2) マザーファンドの通貨別債券組入比率、平均残存期間（年）、平均最終利回り、平均格付は、現地通貨建債券の時価残高合計で加重平均し算出しています。

(注3) 平均格付は、Moody's社とS&P社の本国通貨建長期債務格付のうち、上位格付を基に国際投信投資顧問が計算し、S&P社の表示方法で表記しています。（出所：Bloomberg）

(注4) 合計値が表記の各要素と異なることがあります。四捨五入による影響です。

(注5) 平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、ファンドおよびマザーファンドに係る信用格付ではありません。

■お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律等の改正に伴い、2014年12月1日以降に作成期日（作成基準日となるファンドの決算日）を迎える運用報告書については、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項を記載した「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本報告書）に二段階化されることになりました。

「運用報告書（全体版）」は弊社のホームページでご覧いただけますが、ご請求いただいた場合には交付いたします。詳しくは、販売会社までお問い合わせください。

■約款変更について（作成対象期間：2014年6月24日～2015年6月22日）

グローバル高金利通貨オープン（1年決算型）

- 「運用報告書（全体版）」について電磁的方法により提供するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 投資信託の併合及び約款変更並びに投資信託契約の解約に関する書面決議に係る受益者数要件を廃止するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 受益者の利益に及ぼす影響が軽微な投資信託の併合に関する書面決議を不要とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 反対受益者の受益権買取請求の規定を適用除外とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- デリバティブ取引等に係る投資制限を規定するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。

先進国高金利通貨オープン マザーファンド

新興国高金利通貨オープン マザーファンド

- 投資信託の併合及び約款変更並びに投資信託契約の解約に関する書面決議に係る受益者数要件を廃止するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 受益者の利益に及ぼす影響が軽微な投資信託の併合に関する書面決議を不要とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 反対受益者の受益権買取請求の規定を適用除外とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- デリバティブ取引等に係る投資制限を規定するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。

先進国高金利通貨オープン マザーファンド

運用報告書（全体版）

第84期（決算日 2015年1月22日） 第87期（決算日 2015年4月22日）
第85期（決算日 2015年2月23日） 第88期（決算日 2015年5月22日）
第86期（決算日 2015年3月23日） 第89期（決算日 2015年6月22日）

（計算期間：2014年12月23日～2015年6月22日）

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	先進国のソブリン債券および準ソブリン債券を中心に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	先進国のソブリン債券および準ソブリン債券
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none">・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。・ソブリン債券以外への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。・同一企業が発行する債券への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の10%以内とします。

国際投信投資顧問

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目1番1号
ホームページ <http://www.kokusai-am.co.jp>

・本報告書において、作成対象期間を当作成期という場合があります。

■ 最近5作成期の運用実績

	決 算 期	基 準	価 額		債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比	純 資 産 額 総
			期 騰 落	中 率			
第11作成期	60期 (2013年 1月22日)	円		%	%	%	百万円
	61期 (2013年 2月22日)	9,288		5.9	96.0	—	3,366
	62期 (2013年 3月22日)	9,523		2.5	95.4	—	3,392
	63期 (2013年 4月22日)	9,653		1.4	97.3	—	3,345
	64期 (2013年 5月22日)	10,122		4.9	96.5	—	3,462
	65期 (2013年 6月24日)	10,258		1.3	98.4	—	3,457
第12作成期	66期 (2013年 7月22日)	9,471		△7.7	97.4	—	3,084
	67期 (2013年 8月22日)	9,792		3.4	97.9	—	3,165
	68期 (2013年 9月22日)	9,432		△3.7	97.3	—	2,966
	69期 (2013年 10月22日)	9,907		5.0	96.3	—	3,068
	70期 (2013年 11月22日)	9,978		0.7	97.5	—	3,045
	71期 (2013年 12月24日)	10,031		0.5	96.4	—	3,006
第13作成期	72期 (2014年 1月22日)	10,308		2.8	97.4	—	2,939
	73期 (2014年 2月24日)	10,293		△0.1	96.9	—	2,880
	74期 (2014年 3月24日)	10,199		△0.9	96.9	—	2,771
	75期 (2014年 4月22日)	10,275		0.7	96.3	—	2,750
	76期 (2014年 5月22日)	10,460		1.8	96.7	—	2,779
	77期 (2014年 6月23日)	10,343		△1.1	97.0	—	2,727
第14作成期	78期 (2014年 6月23日)	10,464		1.2	98.1	—	2,703
	79期 (2014年 7月22日)	10,391		△0.7	98.5	—	2,633
	80期 (2014年 8月22日)	10,516		1.2	97.5	—	2,648
	81期 (2014年 9月22日)	10,780		2.5	97.7	—	2,656
	82期 (2014年 10月22日)	10,391		△3.6	78.4	—	2,519
	83期 (2014年 11月25日)	11,247		8.2	96.4	—	2,291
第15作成期	84期 (2014年 12月22日)	10,999		△2.2	96.1	—	2,127
	85期 (2015年 1月22日)	10,610		△3.5	95.1	—	2,063
	86期 (2015年 2月23日)	10,662		0.5	97.0	—	1,999
	87期 (2015年 3月23日)	10,538		△1.2	97.5	—	1,912
	88期 (2015年 4月22日)	10,611		0.7	96.8	—	1,918
	89期 (2015年 5月22日)	10,946		3.2	95.9	—	1,962
	89期 (2015年 6月22日)	10,873		△0.7	97.3	—	1,878

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■ 当作成期の基準価額等の推移

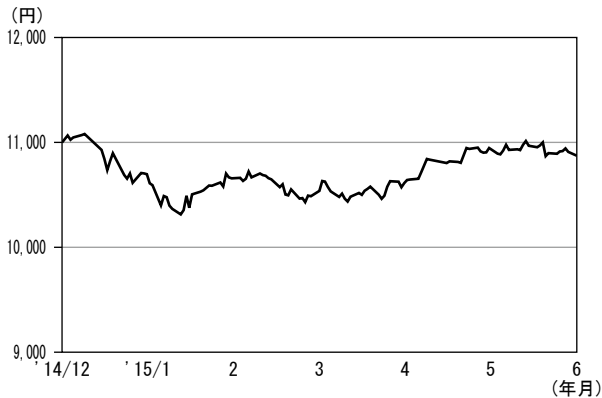
決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			騰 落 率		
第84期	(期 首) 2014年12月22日	円 10,999	% —	% 96.1	% —
	12月末	11,080	0.7	94.3	—
	(期 末) 2015年 1月22日	10,610	△3.5	95.1	—
第85期	(期 首) 2015年 1月22日	10,610	—	95.1	—
	1月末	10,366	△2.3	94.1	—
	(期 末) 2015年 2月23日	10,662	0.5	97.0	—
第86期	(期 首) 2015年 2月23日	10,662	—	97.0	—
	2月末	10,667	0.0	97.1	—
	(期 末) 2015年 3月23日	10,538	△1.2	97.5	—
第87期	(期 首) 2015年 3月23日	10,538	—	97.5	—
	3月末	10,511	△0.3	97.2	—
	(期 末) 2015年 4月22日	10,611	0.7	96.8	—
第88期	(期 首) 2015年 4月22日	10,611	—	96.8	—
	4月末	10,842	2.2	96.3	—
	(期 末) 2015年 5月22日	10,946	3.2	95.9	—
第89期	(期 首) 2015年 5月22日	10,946	—	95.9	—
	5月末	10,928	△0.2	96.6	—
	(期 末) 2015年 6月22日	10,873	△0.7	97.3	—

(注1) 騰落率は各期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

■ 運用経過

■ 基準価額の推移について (作成対象期間：2014年12月23日から2015年6月22日まで)



当マザーファンドの作成対象期間中の騰落率はマイナス1.1%となりました。

■ 基準価額の主な変動要因 (作成対象期間：2014年12月23日から2015年6月22日まで)

投資国債券のインカムゲインが基準価額の上昇に寄与したものの、ニュージーランド・ドルなどの投資国通貨が円に対して下落（円高）したことや、シンガポールなどで金利が上昇し、債券価格が下落したことなどが基準価額の下落に作用しました。

投資環境について（作成対象期間：2014年12月23日～2015年6月22日）➤ **先進国債券市場の動向：**

作成対象期間の先進国債券市場では、投資対象国の金利はおおむね低下しました。

先進国債券市場は、主要な先進国の中央銀行が緩和的な金融政策を継続していることや、資源価格の下落などを背景にインフレ期待が低下していることなどから、多くの国で金利は低下しました。ニュージーランドでは、経済成長が鈍化していることなどを背景に中央銀行が利下げに踏み切ったことなどから金利は低下しました。

➤ **先進国為替市場の動向：**

作成対象期間の先進国為替市場では、投資対象国の通貨は円に対してまちまちとなりました。

ニュージーランド・ドルは、経済成長が鈍化していることなどを背景に円に対して下落しました。一方、英ポンドは、総選挙を受けて政治的不透明感が後退したことなどから、円に対して上昇しました。

ポートフォリオについて (2014年12月23日～2015年6月22日)

国別配分については、作成対象期間の初めは、ニュージーランド、オーストラリア、ノルウェー、カナダ、イギリスの現地通貨建国債をおおむね均等に組み入れたポートフォリオとしました。作成対象期間末は、ニュージーランド、オーストラリア、シンガポール、ノルウェー、カナダの現地通貨建国債をおおむね均等に組み入れたポートフォリオとしました。残存期間については、各投資国の残存期間3年以内の国債へ投資を行いました。外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは行いませんでした。

(2014年12月22日現在)				
通貨	債券 組入比率	平均残存 期間(年)	平均最終 利回り	平均格付
ニュージーランド・ドル	19.4%	0.3	3.6%	A A A
オーストラリア・ドル	19.1%	2.2	2.3%	A A A
ノルウェー・クローネ	19.8%	0.4	1.1%	A A A
カナダ・ドル	19.6%	1.7	1.0%	A A A
イギリス・ポンド	19.7%	1.7	0.5%	A A A
その他	2.4%	—	—	—
合計	100.0%	1.2	1.6%	A A A

(2015年6月22日現在)				
通貨	債券 組入比率	平均残存 期間(年)	平均最終 利回り	平均格付
ニュージーランド・ドル	18.2%	2.5	2.9%	A A A
オーストラリア・ドル	20.7%	1.7	1.9%	A A A
シンガポール・ドル	20.4%	1.2	0.9%	A A A
ノルウェー・クローネ	19.0%	1.9	0.8%	A A A
カナダ・ドル	19.8%	0.9	0.7%	A A A
その他	1.9%	—	—	—
合計	100.0%	1.6	1.4%	A A A

※後記の「注記」をご参照ください。

<注記>

- (注1) マザーファンドの通貨別組入比率は未取利息等を含むため、「運用報告書(全体版)組入資産の明細」の比率とは異なります。
- (注2) マザーファンドの通貨別債券組入比率、平均残存期間(年)、平均最終利回り、平均格付は、現地通貨建債券の時価残高合計で加重平均し算出しています。
- (注3) 平均格付は、Moody's社とS&P社の自国通貨建長期債務格付のうち、上位格付を基に国際投信投資顧問が計算し、S&P社の表示方法で表記しています。(出所: Bloomberg)
- (注4) 合計値が表記の各要素と異なることがありますが、四捨五入による影響です。
- (注5) 平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、ファンドおよびマザーファンドに係る信用格付ではありません。

■ 今後の運用方針

● 国別資産配分

原則として、先進国の中から相対的に金利の高い5通貨を選定し、現地通貨建の債券に均等に投資します。投資国通貨の選定においては、各国のファンダメンタルズや市場規模、流動性等も考慮します（選定通貨の見直しは定期的に行いますが、必要と判断した場合は別のタイミングで一部の通貨を入れ替えることがあります。入れ替えの途中などでは一時的に投資国通貨が5通貨とまらないこともあります。）。

● 残存期間

残存期間が3年を超える債券には、原則として投資しないものとします。

● 為替ヘッジ等

外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは原則として行わない方針です。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第84期～第89期 (2014/12/23～2015/6/22)		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) その他費用	円 2	% 0.017	$(a) \text{ その他費用} = \frac{\text{期間中のその他費用}}{\text{期間中の平均受益権口数}}$ ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用等
(保 管 費 用)	(2)	(0.017)	
合 計	2	0.017	

※マザーファンドの期間中の平均基準価額は10,732円です。

(注1) 期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期間中の平均基準価額（各月末の単純平均）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

■ 当作成期の売買及び取引の状況 (2014年12月23日から2015年6月22日まで)

公社債

決 算 期				第 84 期 ~ 第 89 期	
				買 付 額	売 付 額
外	カ	ナ	ダ	千カナダ・ドル	千カナダ・ドル
			国 債 証 券	3,718	4,030
	イ	ギ	リ	千イギリス・ポンド	千イギリス・ポンド
			国 債 証 券	—	2,193
	ノ	ル	ウ	千ノルウェー・クローネ	千ノルウェー・クローネ
			国 債 証 券	22,419	908 (24,000)
	オ	—	ス	千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル
			国 債 証 券	107	161
	ニ	—	ジ	千ニュージーランド・ドル	千ニュージーランド・ドル
			国 債 証 券	4,186	361 (4,200)
	シ	ン	ガ	千シンガポール・ドル	千シンガポール・ドル
			国 債 証 券	4,368	206

(注1) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 金額の単位未満は切り捨てです。

(注3) () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

■ 当作成期の主要な売買銘柄 (2014年12月23日から2015年6月22日まで)

公社債

第 84 期 ~ 第 89 期					
買 付			売 付		
銘	柄	金額	銘	柄	金額
		千円			千円
NEW ZEALAND GOVT 6%	17/12/15(ニュージーランド)	384,494	UK TREASURY 4%	16/9/7(イギリス)	425,418
SINGAPORE GOVT 3.75%	16/9/1(シンガポール)	379,914	CANADIAN GOVT 2.75%	16/9/1(カナダ)	384,322
CANADIAN GOVT 4%	16/6/1(カナダ)	371,883	SINGAPORE GOVT 3.75%	16/9/1(シンガポール)	18,986
NORWEGIAN GOVT. 4.25%	17/5/19(ノルウェー)	359,161	NEW ZEALAND GOVT 6%	15/4/15(ニュージーランド)	18,178
AUD GOVT. BOND 6%	17/2/15(オーストラリア)	10,065	AUD GOVT. BOND 6%	17/2/15(オーストラリア)	15,089
—	—	—	NEW ZEALAND GOVT 6%	17/12/15(ニュージーランド)	14,751
—	—	—	NORWEGIAN GOVT. 5%	15/5/15(ノルウェー)	14,320

(注1) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 国内の現先取引によるものは含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てです。

■ 当作成期の利害関係人[※]との取引状況等 (2014年12月23日から2015年6月22日まで)

(1) 利害関係人との取引状況

決 算 期	第 84 期 ~ 第 89 期					
	区 分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D
公 社 債						
為 替 直 物 取 引	755	383	50.7	951	436	45.8

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第 84 期 ~ 第 89 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	—千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	—千円
(B) / (A)	—%

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行株式会社です。

■ 組入資産の明細

(1) 外国（外貨建）公社債

作成期 区分	第 15 作 成 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
カナダ	千カナダ・ドル 3,600	千カナダ・ドル 3,712	千円 371,293	% 19.8	% —	% —	% —	% 19.8
ノルウェー	千ノルウェー・クローネ 21,000	千ノルウェー・クローネ 22,367	355,189	18.9	—	—	—	18.9
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 3,750	千オーストラリア・ドル 3,995	380,837	20.3	—	—	—	20.3
ニュージーランド	千ニュージーランド・ドル 3,750	千ニュージーランド・ドル 4,027	340,989	18.2	—	—	18.2	—
シンガポール	千シンガポール・ドル 4,000	千シンガポール・ドル 4,132	379,845	20.2	—	—	—	20.2
合計	—	—	1,828,155	97.3	—	—	18.2	79.2

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注4) 一印は組み入れがありません。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注6) BB格以下組入比率の計算においては、Moody'sとS&Pの格付けのうち高いものを採用しています。

(2) 外国（外貨建）公社債銘柄別

作成期 区分	第 15 作 成 期 末							
	種 類	銘 柄	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
					外貨建金額	邦貨換算金額		
カナダ	国債証券	CANADIAN GOVT	% 4.0	千カナダ・ドル 3,600	千カナダ・ドル 3,712	千円 371,293	2016/6/1	
ノルウェー	国債証券	NORWEGIAN GOVT.	4.25	千ノルウェー・クローネ 21,000	千ノルウェー・クローネ 22,367	355,189	2017/5/19	
オーストラリア	国債証券	AUD GOVT. BOND	6.0	千オーストラリア・ドル 3,750	千オーストラリア・ドル 3,995	380,837	2017/2/15	
ニュージーランド	国債証券	NEW ZEALAND GOVT	6.0	千ニュージーランド・ドル 3,750	千ニュージーランド・ドル 4,027	340,989	2017/12/15	
シンガポール	国債証券	SINGAPORE GOVT	3.75	千シンガポール・ドル 4,000	千シンガポール・ドル 4,132	379,845	2016/9/1	
合計			—	—	—	1,828,155		

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

■ 投資信託財産の構成

2015年6月22日現在

項 目	第 15 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 1,828,155	97.1%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	54,238	2.9
投 資 信 託 財 産 総 額	1,882,393	100.0

- (注1) 当作成期末における外貨建純資産（1,852,767千円）の投資信託財産総額（1,882,393千円）に対する比率は98.4%です。
- (注2) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、6月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=122.69円、1カナダ・ドル=100.00円、1ノルウェー・クローネ=15.88円、1オーストラリア・ドル=95.31円、1ニュージーランド・ドル=84.67円、1シンガポール・ドル=91.91円です。
- (注3) 評価額の単位未満は切り捨てです。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2015年1月22日) (2015年2月23日) (2015年3月23日) (2015年4月22日) (2015年5月22日) (2015年6月22日)現在

項 目	第 84 期 末	第 85 期 末	第 86 期 末	第 87 期 末	第 88 期 末	第 89 期 末
	円	円	円	円	円	円
(A)資 産	2,063,673,130	2,009,373,932	1,923,578,584	1,946,575,616	1,965,521,490	1,882,393,006
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	63,196,306	19,979,237	29,093,020	28,754,365	62,687,408	39,995,351
公 社 債 (評価額)	1,961,536,810	1,939,188,706	1,865,714,377	1,855,988,736	1,882,043,107	1,828,155,085
未 収 入 金	—	14,320,026	—	29,710,213	—	—
未 収 利 息	34,575,922	35,845,498	28,609,897	24,460,497	13,573,395	13,883,403
前 払 費 用	4,364,092	40,465	161,290	7,661,805	7,217,580	359,167
(B)負 債	—	10,101,234	10,798,640	28,549,367	2,802,939	3,683,553
未 払 金	—	10,065,525	—	15,043,098	—	—
未 払 解 約 金	—	35,709	10,798,640	13,506,269	2,802,939	3,683,553
(C)純資産総額(A-B)	2,063,673,130	1,999,272,698	1,912,779,944	1,918,026,249	1,962,718,551	1,878,709,453
元 本	1,945,010,067	1,875,166,198	1,815,128,965	1,807,510,438	1,793,072,656	1,727,859,991
次 期 繰 越 損 益 金	118,663,063	124,106,500	97,650,979	110,515,811	169,645,895	150,849,462
(D)受 益 権 総 口 数	1,945,010,067口	1,875,166,198口	1,815,128,965口	1,807,510,438口	1,793,072,656口	1,727,859,991口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,610円	10,662円	10,538円	10,611円	10,946円	10,873円

- (注1) 当マザーファンドの第84期首元本額は1,934,096,243円、第84期～第89期中追加設定元本額は261,528,564円、第84期～第89期中一部解約元本額は467,764,816円です。
- (注2) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当作成期末元本額は、グローバル高金利通貨オープン（毎月決算型）1,705,891,870円、グローバル高金利通貨オープン（1年決算型）21,968,121円、合計1,727,859,991円です。
- (注3) 1口当たり純資産額は、第84期末1.0610円、第85期末1.0662円、第86期末1.0538円、第87期末1.0611円、第88期末1.0946円、第89期末1.0873円です。

■ 損益の状況

第84期 (自2014年12月23日 至2015年 1月22日) 第87期 (自2015年 3月24日 至2015年 4月22日)
 第85期 (自2015年 1月23日 至2015年 2月23日) 第88期 (自2015年 4月23日 至2015年 5月22日)
 第86期 (自2015年 2月24日 至2015年 3月23日) 第89期 (自2015年 5月23日 至2015年 6月22日)

項 目	第 84 期	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期	第 89 期
	円	円	円	円	円	円
(A)配 当 等 収 益	7,647,921	7,842,023	7,013,726	7,045,818	7,291,752	7,080,772
受 取 利 息	7,647,921	7,842,023	7,013,726	7,045,818	7,291,752	7,080,772
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 83,831,299	1,274,209	△ 30,145,108	6,545,357	53,298,311	△ 19,620,866
売 買 益	2,205,526	17,309,034	8,692,440	18,102,671	68,765,532	7,522,408
売 買 損	△ 86,036,825	△ 16,034,825	△ 38,837,548	△ 11,557,314	△ 15,467,221	△ 27,143,274
(C)信 託 報 酬 等	△ 56,129	△ 92,260	△ 65,665	△ 28,390	△ 40,616	△ 67,535
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 76,239,507	9,023,972	△ 23,197,047	13,562,785	60,549,447	△ 12,607,629
(E)前 期 繰 越 損 益 金	193,290,089	118,663,063	124,106,500	97,650,979	110,515,811	169,645,895
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	6,890,486	2,666,734	1,253,090	3,330,804	2,642,638	1,534,143
(G)解 約 差 損 益 金	△ 5,278,005	△ 6,247,269	△ 4,511,564	△ 4,028,757	△ 4,062,001	△ 7,722,947
(H)計 (D + E + F + G)	118,663,063	124,106,500	97,650,979	110,515,811	169,645,895	150,849,462
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	118,663,063	124,106,500	97,650,979	110,515,811	169,645,895	150,849,462

(注) 損益の状況の中で

- ・ (B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
- ・ (C)信託報酬等は外貨建資産の保管費用等のことです。
- ・ (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした金額のうち追加元本との差額を処理する項目です。
- ・ (G)解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

新興国高金利通貨オープン マザーファンド

運用報告書（全体版）

第84期（決算日 2015年1月22日） 第87期（決算日 2015年4月22日）
第85期（決算日 2015年2月23日） 第88期（決算日 2015年5月22日）
第86期（決算日 2015年3月23日） 第89期（決算日 2015年6月22日）

（計算期間：2014年12月23日～2015年6月22日）

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	新興国のソブリン債券および準ソブリン債券を中心に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	新興国のソブリン債券および準ソブリン債券
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none">・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。・ソブリン債券以外への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。・同一企業が発行する債券への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の10%以内とします。

国際投信投資顧問

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目1番1号
ホームページ <http://www.kokusai-am.co.jp>

・本報告書において、作成対象期間を当作成期という場合があります。

■最近5作成期の運用実績

	決 算 期	基 準	価 額		債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比	純 資 産 額
			期 騰 落	中 率			
第11作成期		円		%	%	%	百万円
	60期 (2013年 1月22日)	10,449		6.9	96.8	—	3,437
	61期 (2013年 2月22日)	10,946		4.8	97.3	—	3,459
	62期 (2013年 3月22日)	10,858		△0.8	96.5	—	3,392
	63期 (2013年 4月22日)	11,618		7.0	96.8	—	3,527
	64期 (2013年 5月22日)	11,885		2.3	96.3	—	3,481
第12作成期	65期 (2013年 6月24日)	10,783		△9.3	97.0	—	3,162
	66期 (2013年 7月22日)	11,195		3.8	97.0	—	3,194
	67期 (2013年 8月22日)	10,588		△5.4	96.5	—	3,003
	68期 (2013年 9月24日)	11,249		6.2	96.6	—	3,120
	69期 (2013年10月22日)	11,250		0.0	96.8	—	3,070
	70期 (2013年11月22日)	11,363		1.0	97.4	—	3,030
第13作成期	71期 (2013年12月24日)	11,612		2.2	95.9	—	2,973
	72期 (2014年 1月22日)	11,327		△2.5	95.2	—	2,893
	73期 (2014年 2月24日)	11,080		△2.2	94.9	—	2,823
	74期 (2014年 3月24日)	11,003		△0.7	94.5	—	2,772
	75期 (2014年 4月22日)	11,516		4.7	97.6	—	2,800
	76期 (2014年 5月22日)	11,675		1.4	97.0	—	2,768
第14作成期	77期 (2014年 6月23日)	11,704		0.2	96.6	—	2,725
	78期 (2014年 7月22日)	11,725		0.2	96.0	—	2,668
	79期 (2014年 8月22日)	11,906		1.5	97.0	—	2,669
	80期 (2014年 9月22日)	12,140		2.0	96.2	—	2,685
	81期 (2014年10月22日)	11,714		△3.5	96.2	—	2,534
	82期 (2014年11月25日)	12,659		8.1	93.0	—	2,327
第15作成期	83期 (2014年12月22日)	11,905		△6.0	89.7	—	2,186
	84期 (2015年 1月22日)	11,738		△1.4	96.7	—	2,092
	85期 (2015年 2月23日)	11,550		△1.6	95.6	—	2,008
	86期 (2015年 3月23日)	11,248		△2.6	95.8	—	1,937
	87期 (2015年 4月22日)	11,661		3.7	95.6	—	1,930
	88期 (2015年 5月22日)	12,206		4.7	96.3	—	1,964
	89期 (2015年 6月22日)	11,970		△1.9	89.0	—	1,889

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■ 当作成期の基準価額等の推移

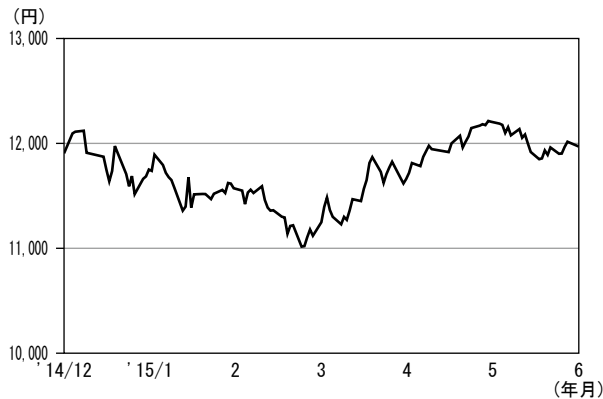
決算期	年 月 日	基準 価 額		債 券 組 入 率 債 比	債 券 先 物 率 債 比
		円	騰 落 率 %		
第84期	(期 首) 2014年12月22日	11,905	—	89.7	—
	12月末	11,911	0.1	96.7	—
	(期 末) 2015年 1月22日	11,738	△1.4	96.7	—
第85期	(期 首) 2015年 1月22日	11,738	—	96.7	—
	1月末	11,579	△1.4	96.0	—
	(期 末) 2015年 2月23日	11,550	△1.6	95.6	—
第86期	(期 首) 2015年 2月23日	11,550	—	95.6	—
	2月末	11,527	△0.2	95.0	—
	(期 末) 2015年 3月23日	11,248	△2.6	95.8	—
第87期	(期 首) 2015年 3月23日	11,248	—	95.8	—
	3月末	11,299	0.5	96.5	—
	(期 末) 2015年 4月22日	11,661	3.7	95.6	—
第88期	(期 首) 2015年 4月22日	11,661	—	95.6	—
	4月末	11,977	2.7	95.9	—
	(期 末) 2015年 5月22日	12,206	4.7	96.3	—
第89期	(期 首) 2015年 5月22日	12,206	—	96.3	—
	5月末	12,077	△1.1	95.8	—
	(期 末) 2015年 6月22日	11,970	△1.9	89.0	—

(注1) 騰落率は各期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

■ 運用経過

■ 基準価額の推移について (作成対象期間：2014年12月23日から2015年6月22日まで)



当マザーファンドの作成対象期間中の騰落率はプラス0.5%となりました。

■ 基準価額の主な変動要因 (作成対象期間：2014年12月23日から2015年6月22日まで)

ロシア・ルーブルが円に対して上昇（円安）したことやロシアで金利が低下し債券価格が上昇したことなどが、基準価額の上昇に寄与しました。また、投資国債券のインカムゲインも基準価額の上昇に寄与しました。

トルコ・リラやブラジル・レアルなどの投資対象通貨が円に対して下落（円高）したこと、トルコやブラジルで金利が上昇し債券価格が下落したことなどが、基準価額の下落に作用しました。

投資環境について（作成対象期間：2014年12月23日～2015年6月22日）**➤新興国債券市場の動向：**

作成対象期間の新興国債券市場では、多くの国で軟調となりました。

新興国債券市場では、為替市場でロシア・ルーブルが反発したことなどから、中央銀行がそれまで通貨防衛のために引き上げてきた政策金利を引き下げたことを背景に金利は低下しました。一方、ブラジルは、政策金利の引き上げなどを背景に金利は上昇しました。また、トルコは、政治的な不透明感の高まりなどを背景に金利は上昇しました。

➤新興国為替市場の動向：

作成対象期間の新興国為替市場では、ロシア・ルーブルを除く投資国通貨が下落しました。

ロシア・ルーブルは、ウクライナ情勢の安定化や原油価格の落ち着きなどから円に対して上昇しました。一方、ブラジル・レアルは、国営石油会社ペトロブラスの汚職問題に対する懸念などから円に対して下落しました。また、トルコ・リラは、トルコの政治情勢などが懸念され、円に対して下落したほか、南アフリカ・ランドなどもギリシャ情勢に対する懸念などを背景に市場参加者のリスク回避姿勢が強まったことから円に対して下落しました。

ポートフォリオについて (2014年12月23日～2015年6月22日)

国別配分については、作成対象期間の初めは、ナイジェリア、ブラジル、トルコ、ロシア、南アフリカの現地通貨建国債をおおむね均等に組み入れたポートフォリオとしました。2015年1月に投資国通貨の見直しを実施し、外国為替市場の流動性低下などを勘案してナイジェリア国債を売却し、コロンビア国債への入れ換えを実施しました。その後、実施した定期的な投資国通貨の見直しでは、金利の相対的な魅力度に変化がなく、投資国通貨に変更を加えませんでした。残存期間については、各投資国の残存期間3年以内の国債へ投資を行いました。外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円で為替ヘッジは行いませんでした。

(2014年12月22日現在)					(2015年6月22日現在)				
通貨	債券 組入比率	平均残存 期間(年)	平均最終 利回り	平均格付	通貨	債券 組入比率	平均残存 期間(年)	平均最終 利回り	平均格付
ロシア・ルーブル	16.3%	0.9	15.8%	BBB	ブラジル・レアル	19.5%	1.5	14.1%	BBB+
ナイジェリア・ナイラ	20.4%	0.3	13.2%	BB-	ロシア・ルーブル	20.0%	0.5	11.5%	BBB-
ブラジル・レアル	21.7%	0.3	12.2%	BBB+	トルコ・リラ	12.5%	0.7	10.0%	BBB-
トルコ・リラ	19.1%	0.9	8.6%	BBB	南アフリカ・ランド	20.6%	1.7	7.1%	BBB+
南アフリカ・ランド	13.6%	1.9	6.8%	BBB+	コロンビア・ペソ	19.4%	0.3	5.4%	BBB+
その他	8.9%	-	-	-	その他	8.1%	-	-	-
合計	100.0%	0.7	10.5%	BBB-	合計	100.0%	0.9	8.8%	BBB

※後記の「注記」をご参照ください。

<注記>

- (注1) マザーファンドの通貨別組入比率は未取利息等を含むため、「運用報告書(全体版)組入資産の明細」の比率とは異なります。
- (注2) マザーファンドの通貨別債券組入比率、平均残存期間(年)、平均最終利回り、平均格付は、現地通貨建債券の時価残高合計で加重平均し算出しています。
- (注3) 平均格付は、Moody's社とS&P社の自国通貨建長期債務格付のうち、上位格付を基に国際投信投資顧問が計算し、S&P社の表示方法で表記しています。(出所: Bloomberg)
- (注4) 合計値が表記の各要素と異なることがありますが、四捨五入による影響です。
- (注5) 平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、ファンドおよびマザーファンドに係る信用格付ではありません。

■ 今後の運用方針

● 国別資産配分

原則として、新興国の中から相対的に金利の高い5通貨を選定し、現地通貨建の債券に均等に投資します。投資国通貨の選定においては、各国のファンダメンタルズや市場規模、流動性等も考慮します（選定通貨の見直しは定期的に行いますが、必要と判断した場合は別のタイミングで一部の通貨を入れ替えることがあります。入れ替えの途中などでは一時的に投資国通貨が5通貨とまらないこともあります。）。

● 残存期間

残存期間が3年を超える債券には、原則として投資しないものとします。

● 為替ヘッジ等

外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは原則として行わない方針です。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第84期～第89期 (2014/12/23～2015/6/22)		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) その他費用	円 10	% 0.085	$(a) \text{ その他費用} = \frac{\text{期間中のその他費用}}{\text{期間中の平均受益権口数}}$ ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用等
(保 管 費 用)	(10)	(0.085)	
合 計	10	0.085	

※マザーファンドの期間中の平均基準価額は11,728円です。

- (注1) 期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。
- (注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期間中の平均基準価額（各月末の単純平均）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

■ 当作成期の売買及び取引の状況 (2014年12月23日から2015年6月22日まで)

公社債

決 算 期		第 84 期 ~ 第 89 期	
		買 付 額	売 付 額
外	国		
	ブラジル	千ブラジル・リアル	千ブラジル・リアル
	国債証券	8,167	1,161 (8,232)
	コロンビア	千コロンビア・ペソ	千コロンビア・ペソ
	国債証券	8,416,856	1,096,339
	トルコ	千トルコ・リラ	千トルコ・リラ
	国債証券	—	— (2,820)
	ロシア	千ロシア・ルーブル	千ロシア・ルーブル
	国債証券	15,495	33,420
	南アフリカ	千南アフリカ・ランド	千南アフリカ・ランド
	国債証券	12,259	1,978
	ナイジェリア	千ナイジェリア・ナイラ	千ナイジェリア・ナイラ
	国債証券	—	665,836

(注1) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 金額の単位未満は切り捨てです。

(注3) () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

■ 当作成期の主要な売買銘柄 (2014年12月23日から2015年6月22日まで)

公社債

第 84 期 ~ 第 89 期					
買 付			売 付		
銘	柄	金額	銘	柄	金額
		千円			千円
COLOMBIA REP 12%	15/10/22(コロンビア)	418,317	NIGERIA T-BOND 4%	15/4/23(ナイジェリア)	415,082
BRAZIL NTN-F 10%	17/1/1(ブラジル)	370,899	RUSSIA-OFZ 6.88%	15/7/15(ロシア)	76,508
SOUTH AFRICA GOVT 8.25%	17/9/15(南アフリカ)	127,250	COLOMBIA REP 12%	15/10/22(コロンビア)	53,003
RUSSIA-OFZ 7.35%	16/1/20(ロシア)	28,707	BRAZIL-LTN 16/1/1(ブラジル)		27,936
—	—	—	BRAZIL NTN-F 10%	17/1/1(ブラジル)	21,873
—	—	—	SOUTH AFRICA GOVT 13.5%	15/9/15(南アフリカ)	20,261

(注1) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 国内の現先取引によるものは含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てです。

■ 当作成期の利害関係人[※]との取引状況等 (2014年12月23日から2015年6月22日まで)

(1) 利害関係人との取引状況

決 算 期	第 84 期 ~ 第 89 期					
区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
公 社 債	百万円 945	百万円 —	% —	百万円 614	百万円 —	% —
為 替 直 物 取 引	752	—	—	1,058	—	—

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第 84 期 ~ 第 89 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	—千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	—千円
(B) / (A)	—%

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における利害関係人との取引はありません。

■ 組入資産の明細

(1) 外国（外貨建）公社債

作成期 区分	第 15 作 成 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ブラジル	千ブラジル・レアル 9,353	千ブラジル・レアル 9,293	千円 368,196	% 19.5	% —	% —	% —	% 19.5
コロンビア	千コロンビア・ペソ 6,938,000	千コロンビア・ペソ 7,079,673	340,532	18.0	—	—	—	18.0
トルコ	千トルコ・リラ 4,975	千トルコ・リラ 4,995	227,662	12.0	—	—	—	12.0
ロシア	千ロシア・ルーブル 163,205	千ロシア・ルーブル 160,620	366,214	19.4	—	—	—	19.4
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 36,218	千南アフリカ・ランド 37,458	378,332	20.0	—	—	12.2	7.9
合計	—	—	1,680,938	89.0	—	—	12.2	76.8

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注4) 一印は組み入れがありません。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注6) BB格以下組入比率の計算においては、Moody'sとS&Pの格付けのうち高いものを採用しています。

(2) 外国（外貨建）公社債銘柄別

作成期	第 15 作 成 期 末					償還年月日		
	区 分	種 類	銘 柄	利 率	額 面 金 額		評 価 額	
							外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
ブラジル	国債証券	BRAZIL NTN-F	10.0	千ブラジル・レアル 9,353	千ブラジル・レアル 9,293	千円 368,196	2017/1/1	
コロンビア	国債証券	COLOMBIA REP	12.0	千コロンビア・ペソ 6,938,000	千コロンビア・ペソ 7,079,673	340,532	2015/10/22	
トルコ	国債証券	TURKEY GOVT BOND	10.7	千トルコ・リラ 4,975	千トルコ・リラ 4,995	227,662	2016/2/24	
ロシア	国債証券	RUSSIA-OFZ	6.88	千ロシア・ルーブル 70,710	千ロシア・ルーブル 70,480	160,696	2015/7/15	
		RUSSIA-OFZ	7.35	54,295	53,376	121,699	2016/1/20	
		RUSSIA-OFZ	6.9	38,200	36,762	83,818	2016/8/3	
小 計			—	—	—	366,214		
南アフリカ	国債証券	SOUTH AFRICA GOVT	13.5	千南アフリカ・ランド 3,896	千南アフリカ・ランド 3,958	39,980	2015/9/15	
		SOUTH AFRICA GOVT	13.5	9,996	10,762	108,700	2016/9/15	
		SOUTH AFRICA GOVT	8.25	22,325	22,737	229,651	2017/9/15	
小 計			—	—	—	378,332		
合 計			—	—	—	1,680,938		

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

■ 投資信託財産の構成

2015年6月22日現在

項 目	第 15 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 1,680,938	% 88.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	215,653	11.4
投 資 信 託 財 産 総 額	1,896,591	100.0

(注1) 当作成期末における外貨建純資産（1,875,404千円）の投資信託財産総額（1,896,591千円）に対する比率は98.9%です。

(注2) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、6月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=122.69円、1ブラジル・レアル=39.62円、100コロンビア・ペソ=4.81円、1トルコ・リラ=45.57円、1ロシア・ルーブル=2.28円、1南アフリカ・ランド=10.10円です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てです。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2015年1月22日) (2015年2月23日) (2015年3月23日) (2015年4月22日) (2015年5月22日) (2015年6月22日)現在

項 目	第84期末 円	第85期末 円	第86期末 円	第87期末 円	第88期末 円	第89期末 円
(A)資産	2,147,423,417	2,012,345,472	1,946,783,127	1,941,470,041	1,968,173,285	1,896,679,727
コー・ローン等	48,753,497	27,897,849	61,395,337	45,404,466	23,792,229	155,483,614
公社債(評価額)	2,022,676,916	1,919,727,181	1,856,571,421	1,845,044,350	1,891,727,173	1,680,938,358
未収入金	34,820,200	14,430,615	54,519	11,064,773	82,984	4,744,433
未収利息	23,465,712	33,362,821	18,077,933	29,339,794	42,015,559	45,588,709
前払費用	17,707,092	16,927,006	10,683,917	10,616,658	10,555,340	9,924,613
(B)負債	55,186,745	4,213,299	9,393,271	11,110,515	3,636,049	7,187,384
未払金	52,130,954	61,218	54,373	11,049,053	82,918	88,615
未払解約金	3,055,791	4,152,081	9,338,898	61,462	3,553,131	7,098,769
(C)純資産総額(A-B)	2,092,236,672	2,008,132,173	1,937,389,856	1,930,359,526	1,964,537,236	1,889,492,343
元本	1,782,378,472	1,738,707,932	1,722,472,594	1,655,387,765	1,609,548,070	1,578,509,597
次期繰越損益金	309,858,200	269,424,241	214,917,262	274,971,761	354,989,166	310,982,746
(D)受益権総口数	1,782,378,472口	1,738,707,932口	1,722,472,594口	1,655,387,765口	1,609,548,070口	1,578,509,597口
1口当たり基準価額(C/D)	11,738円	11,550円	11,248円	11,661円	12,206円	11,970円

(注1) 当マザーファンドの第84期首元本額は1,836,244,588円、第84期～第89期中追加設定元本額は217,169,833円、第84期～第89期中一部解約元本額は474,904,824円です。

(注2) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、グローバル高金利通貨オープン(毎月決算型)1,550,294,071円、グローバル高金利通貨オープン(1年決算型)19,964,288円、新興国高金利通貨オープン(毎月決算型)8,251,238円、合計1,578,509,597円です。

(注3) 1口当たり純資産額は、第84期末1.1738円、第85期末1.1550円、第86期末1.1248円、第87期末1.1661円、第88期末1.2206円、第89期末1.1970円です。

■損益の状況

第84期(自2014年12月23日 至2015年1月22日) 第87期(自2015年3月24日 至2015年4月22日)
 第85期(自2015年1月23日 至2015年2月23日) 第88期(自2015年4月23日 至2015年5月22日)
 第86期(自2015年2月24日 至2015年3月23日) 第89期(自2015年5月23日 至2015年6月22日)

項 目	第84期 円	第85期 円	第86期 円	第87期 円	第88期 円	第89期 円
(A)配当等収益	31,566,546	13,367,410	11,388,301	12,127,528	12,219,036	11,954,260
受取利息	31,566,546	13,367,410	11,388,301	12,127,528	12,219,036	11,954,260
(B)有価証券売買損益	△ 61,038,217	△ 45,600,140	△ 64,050,776	58,878,907	77,568,410	△ 49,968,539
売買益	31,075,441	29,911,553	23,897,997	86,025,802	80,768,169	2,303,990
売買損	△ 92,113,658	△ 75,511,693	△ 87,948,773	△ 27,146,895	△ 3,199,759	△ 52,272,529
(C)信託報酬等	△ 443,859	△ 431,201	△ 356,049	△ 192,200	△ 150,657	△ 136,957
(D)当期損益金(A+B+C)	△ 29,915,530	△ 32,663,931	△ 53,018,524	70,814,235	89,636,789	△ 38,151,236
(E)前期繰越損益金	349,792,658	309,858,200	269,424,241	214,917,262	274,971,761	354,989,166
(F)追加信託差損益金	5,349,482	7,617,854	6,850,631	4,337,630	3,917,400	7,302,038
(G)解約差損益金	△ 15,368,410	△ 15,387,882	△ 8,339,086	△ 15,097,366	△ 13,536,784	△ 13,157,222
(H)計(D+E+F+G)	309,858,200	269,424,241	214,917,262	274,971,761	354,989,166	310,982,746
次期繰越損益金(H)	309,858,200	269,424,241	214,917,262	274,971,761	354,989,166	310,982,746

(注) 損益の状況の中で

- ・(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
- ・(C)信託報酬等は外貨建資産の保管費用等のことです。
- ・(F)追加信託差損益金とは、追加設定をした金額のうち追加元本との差額を処理する項目です。
- ・(G)解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(余 白)

國際投信投資顧問